



最近の山梨県の経済情勢

平成 24 年 1 月 25 日

財 務 省 関 東 財 務 局
甲 府 財 務 事 務 所

《お問合せ先》

甲府財務事務所 財務課

T E L : 055 - 253 - 2261 (内線 30)

F A X : 055 - 253 - 2245

ホームページ : <http://kantou.mof.go.jp/kofu/>

: <http://kantou.mof.go.jp/> (関東財務局)

: <http://www.mof.go.jp/> (財務省)

厳しい状況にあるなか、おおむね横ばいの動きとなっている。

(今回のポイント)

個人消費はおおむね横ばいとなっている。

住宅建設は前年を下回っている。

設備投資は減少見込みとなっている。

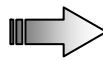
生産はこのところ弱い動きとなっている。

企業収益は増益見込みとなっている。

雇用情勢は厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。



前回(23年7-9月期)
厳しい状況にあるものの、
緩やかな持ち直しの
動きがみられる。



今回(23年10-12月期)
厳しい状況にあるなか、おおむね
横ばいの動きとなっている。

(凡例)



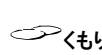
晴れ



晴れ一部曇り



曇り一部晴れ



曇り



本曇り



小雨



雨

(各 論)

□個人消費 …… おおむね横ばいとなっている。

大型小売店販売額は、前年を下回って推移している。

乗用車の新車登録届出数は、小型車は前年を下回っているものの、普通車、軽自動車は前年を大幅に上回っており、全体としては前年を上回っている。

家計消費支出は、足もとで前年を下回っている。

□住宅建設 …… 前年を下回っている。

新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回って推移し、貸家は足もとで前年を下回っており、全体としては前年を下回っている。

□設備投資 …… 23年度は減少見込みとなっている。

法人企業景気予測調査(23年10~12月期調査)で23年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比24.2%の増加見込み、非製造業では同▲41.1%の減少見込みとなっており、全産業では同▲20.4%の減少見込みとなっている。

□生産活動 …… このところ弱い動きとなっている。

電気機械は高い水準で横ばいとなっており、精密機械、輸送機械はおおむね横ばいとなっているものの、一般機械はこのところ減少し、電子部品・デバイスも減少している。

□企業収益 …… 23年度は増益見込みとなっている。

法人企業景気予測調査(23年10~12月期調査)で23年度の経常損益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業は前年比33.7%の増益見込み、非製造業は同12.3%の増益見込みとなっており、全産業では同33.1%の増益見込みとなっている。

□企業の景況感 …… 大企業は「下降」超幅は縮小し、中堅企業は「下降」超に転じ、中小企業は「下降」超幅が拡大している。

法人企業景気予測調査(23年10~12月期調査)の景況判断BSIを全規模(全産業)でみると、「下降」超幅は拡大している。

規模別にみると、大企業は「下降」超幅は縮小し、中堅企業は「下降」超に転じ、中小企業は「下降」超幅が拡大している。

先行きについては、全規模(全産業)でみると、「下降」超で推移する見通しとなっている。

□雇用情勢 …… 厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。

有効求人数は増加傾向にあり、有効求職者数はおおむね横ばいとなっていることから、有効求人倍率は増加傾向にある。

雇用保険受給者実人員は減少しており、所定外労働時間は増加している。

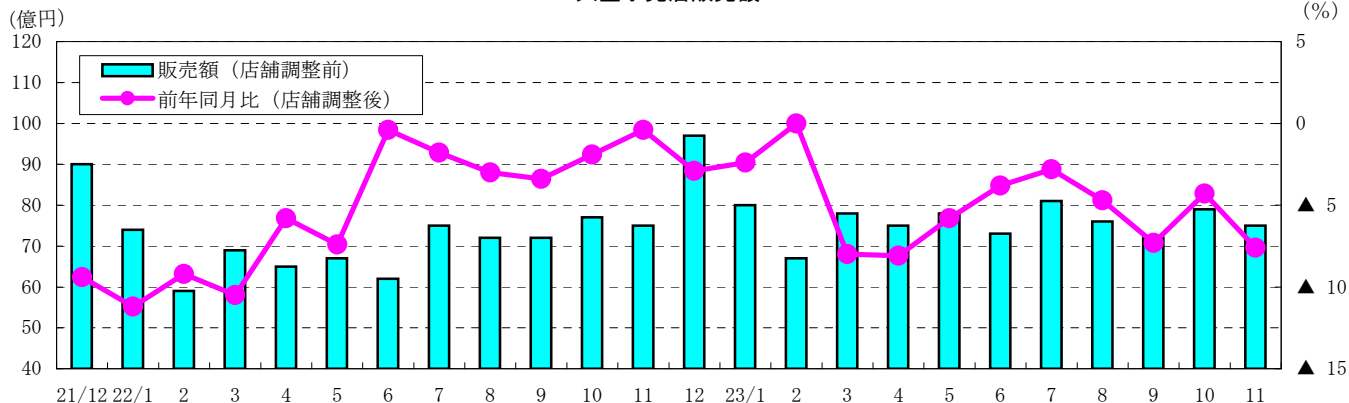
(ヒアリング結果)

- ・競合店が出店した結果、客数は落ちているものの、客単価・買い上げ点数は維持しており、買い控えや財布の紐が固くなったという印象は無く、消費面から見た景気は変わらないと感じている。(小売)
- ・前期と比べて生産量は落ち込んでおり、大手メーカーの県外への大規模移転により大幅な受注減が懸念される。(一般機械)
- ・前年から活況であり、過去から見ても相当良い状態で、生産能力以上の受注がずっと入っている状態である。(電気機械)
- ・生産は欧米向け携帯用電子部品等が不調のため、前年同期比でやや減少している。(電子部品・デバイス)
- ・前期に比べて生産・販売量はほぼ横ばいの状況にあるが、市場規模の縮小等のため、前年比でみると落ちこんでいる。(精密機械)
- ・メーカーは東日本大震災の影響を取り戻すため生産を積み増すとの予測どおり、10月は好調に推移したが、11月のタイの洪水で減産体制に追い込まれた。(輸送機械)
- ・震災以降、太陽光発電や蓄電池等への顧客の関心が高まっており、付加価値の分だけ、坪単価が上がって来ている。(住宅建設)
- ・公共工事の受注については、年々減少傾向にあり、業界全体では厳しい状況にある。(建設)
- ・求職者の募集をしているものの、整備等の技術職の中途採用は難しく、営業の中途採用も求める人物が集まらない。(自動車販売)
- ・受注状況を考えれば余剰感はあるものの、地域雇用の保護の観点から、定年による自然減、賃金の抑制、新規採用の抑制により人員整理はしない方針である。(電気機械)

1. 個人消費 …… おおむね横ばいとなっている

- ・ 大型小売店販売額(百貨店・スーパー、店舗調整後)は、前年を下回って推移している。
- ・ 乗用車の新車登録届出台数は、小型車は前年を下回っているものの、普通車、軽自動車は前年を大幅に上回っており、全体としては前年を上回っている。
- ・ 家計消費支出は、足もとで前年を下回っている。

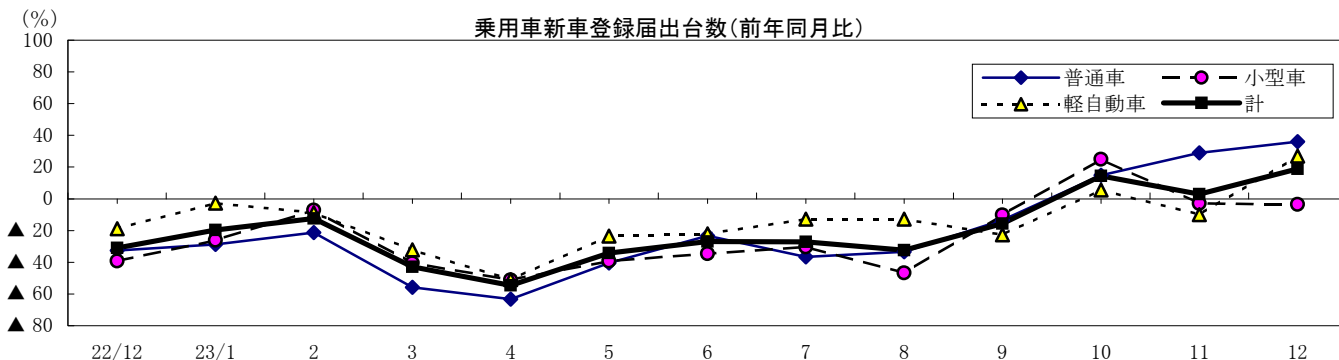
大型小売店販売額



	21/12	22/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
販売額	90	74	59	69	65	67	62	75	72	72	77	75	97	80	67	78	75	78	73	81	76	72	79	75
前年同月比	▲ 9.4	▲ 11.2	▲ 9.2	▲ 10.5	▲ 5.8	▲ 7.4	▲ 0.4	▲ 1.8	▲ 3.0	▲ 3.4	▲ 1.9	▲ 0.4	▲ 2.9	▲ 2.4	0.0	▲ 8.0	▲ 8.1	▲ 5.8	▲ 3.8	▲ 2.8	▲ 4.7	▲ 7.3	▲ 4.3	▲ 7.6

「経済産業省」

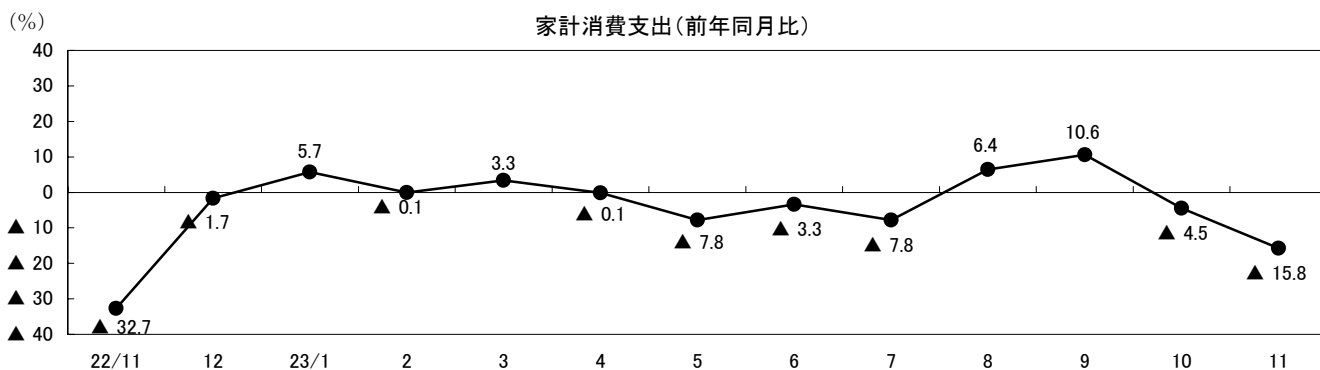
乗用車新車登録届出台数(前年同月比)



	22/12	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
普通車	▲ 32.6	▲ 28.8	▲ 21.2	▲ 55.7	▲ 63.3	▲ 40.4	▲ 23.4	▲ 36.6	▲ 33.4	▲ 13.5	14.9	28.9	35.9
小型車	▲ 39.2	▲ 26.1	▲ 7.1	▲ 40.4	▲ 51.1	▲ 39.2	▲ 34.6	▲ 30.4	▲ 46.6	▲ 10.1	25.0	▲ 2.9	▲ 3.5
軽自動車	▲ 18.8	▲ 2.6	▲ 8.7	▲ 32.2	▲ 50.9	▲ 23.5	▲ 22.2	▲ 12.7	▲ 12.7	▲ 22.7	5.5	▲ 10.0	27.0
計	▲ 31.0	▲ 19.6	▲ 12.4	▲ 42.9	▲ 54.6	▲ 34.2	▲ 26.8	▲ 27.1	▲ 32.5	▲ 15.6	14.5	2.9	19.0

「(社)日本自動車販売協会連合会・山梨県軽自動車協会」

家計消費支出(前年同月比)

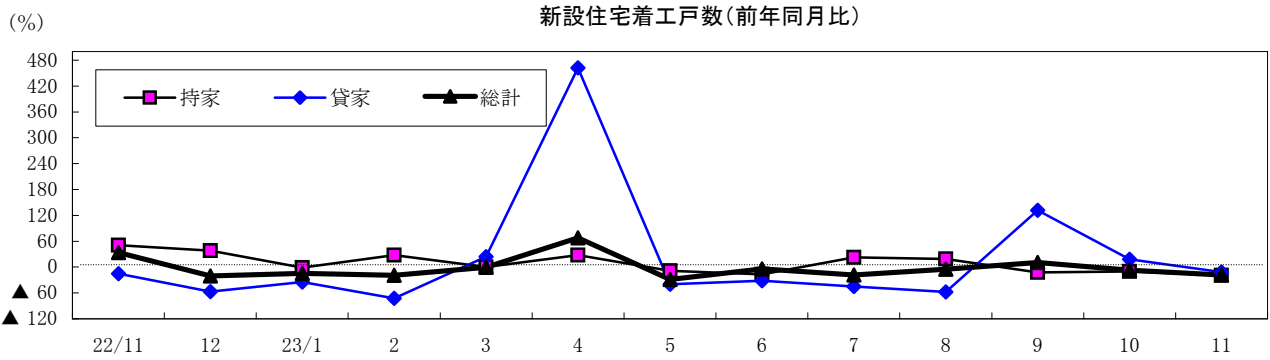


注) 甲府市、二人以上の世帯

「総務省」

2. 住宅建設 …… 前年を下回っている

新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回って推移し、貸家は足もとで前年を下回っており、全体としては前年を下回っている。

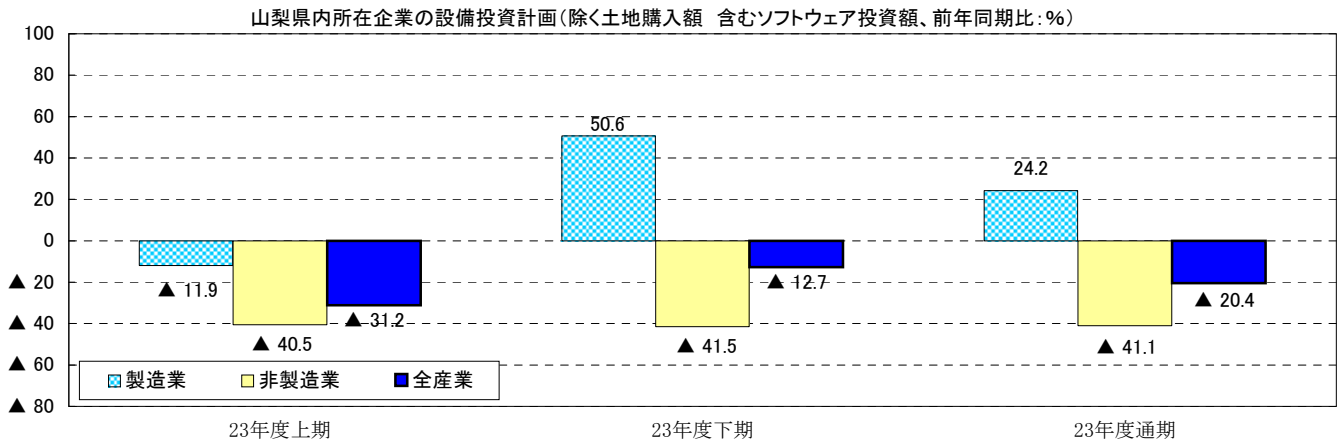


	22/11	12	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
持家	50.7	38.1	▲ 1.3	27.5	0.4	27.6	▲ 8.6	▲ 16.5	22.7	18.9	▲ 12.6	▲ 10.4	▲ 18.8
貸家	▲ 15.5	▲ 57.2	▲ 34.8	▲ 72.7	23.9	461.9	▲ 39.7	▲ 31.3	▲ 45.0	▲ 57.4	131.9	18.0	▲ 11.3
総計	33.5	▲ 20.3	▲ 14.6	▲ 19.1	▲ 0.6	67.5	▲ 28.7	▲ 4.3	▲ 18.2	▲ 4.7	10.9	▲ 7.3	▲ 18.1

「国土交通省」

3. 設備投資 …… 23年度は減少見込みとなっている

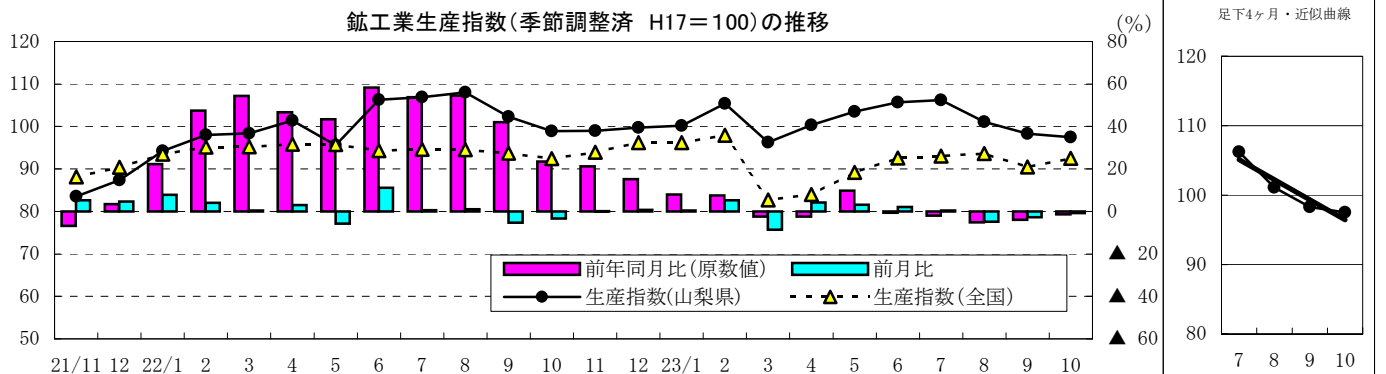
法人企業景気予測調査(23年10~12月期調査)で23年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比24.2%の増加見込み、非製造業では同▲41.1%の減少見込みとなっており、全産業では同▲20.4%の減少見込みとなっている。



「法人企業景気予測調査(23年10~12月期調査)」

4. 生産活動 …… このところ弱い動きとなっている

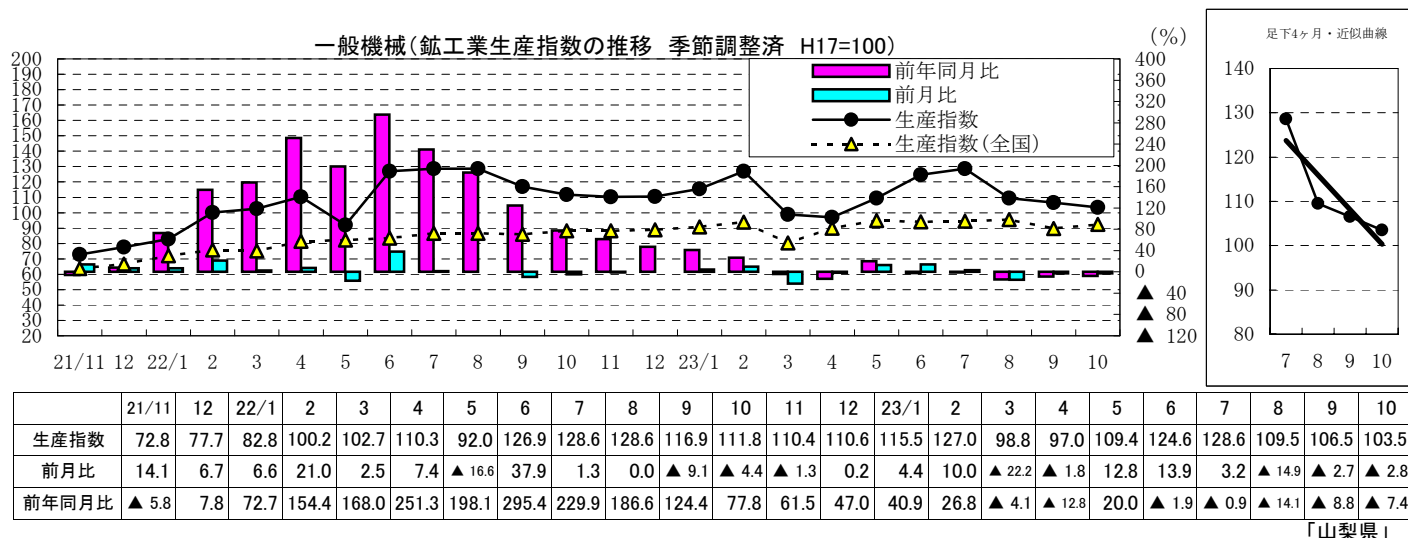
電気機械は高い水準で横ばいとなっており、精密機械、輸送機械はおおむね横ばいとなっているものの、一般機械はこのところ減少し、電子部品・デバイスも減少している。



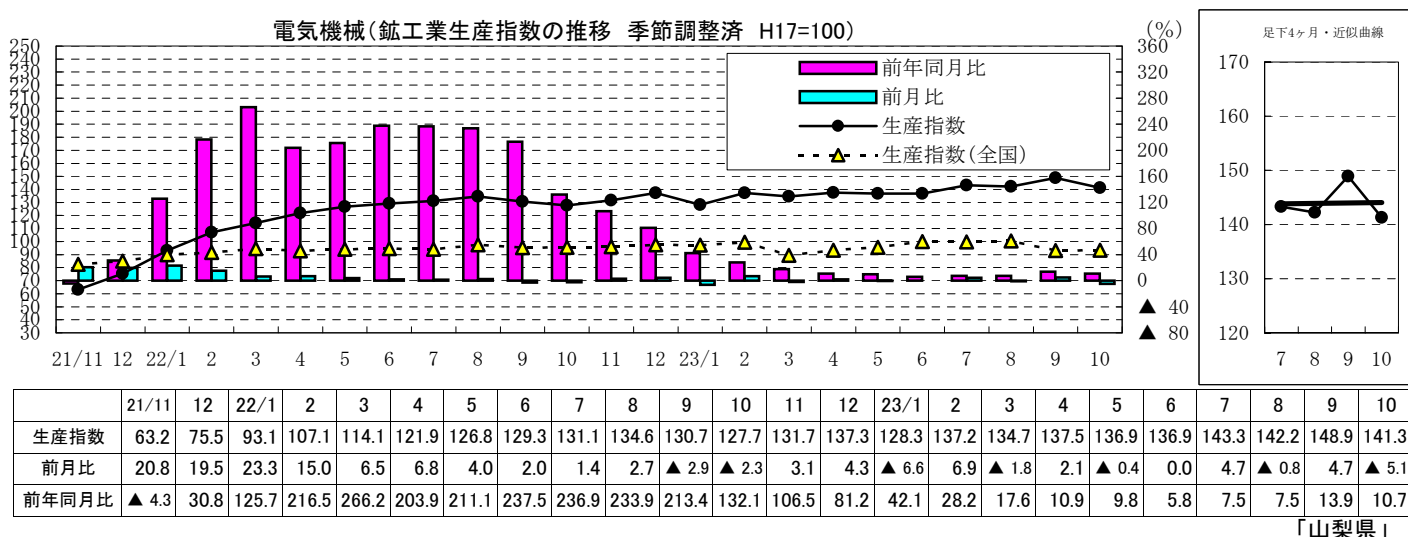
	21/11	12	22/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
県・生産指数	83.5	87.4	94.2	98.0	98.4	101.4	95.6	106.3	106.9	108.0	102.3	98.9	99.0	99.7	100.2	105.4	96.3	100.3	103.5	105.7	106.2	101.1	98.3	97.5	
前月比		5.3	4.7	7.8	4.0	0.4	3.0	▲ 5.7	11.2	0.6	1.0	▲ 5.3	▲ 3.3	0.1	0.7	0.5	5.2	▲ 8.6	4.2	3.2	2.1	0.5	▲ 4.8	▲ 2.8	▲ 0.8
前年同月比		▲ 6.8	3.5	22.2	47.4	54.3	46.7	43.4	58.3	53.8	54.5	42.0	23.4	21.2	15.2	8.0	7.5	▲ 2.4	▲ 2.4	9.7	▲ 0.6	▲ 2.0	▲ 5.1	▲ 3.9	▲ 1.4
全国・生産指数	88.1	90.4	93.5	95.1	95.2	95.8	95.7	94.3	94.6	94.5	93.7	92.4	93.9	96.2	96.2	97.9	82.7	84.0	89.2	92.6	93.0	93.6	90.5	92.5	

「山梨県」

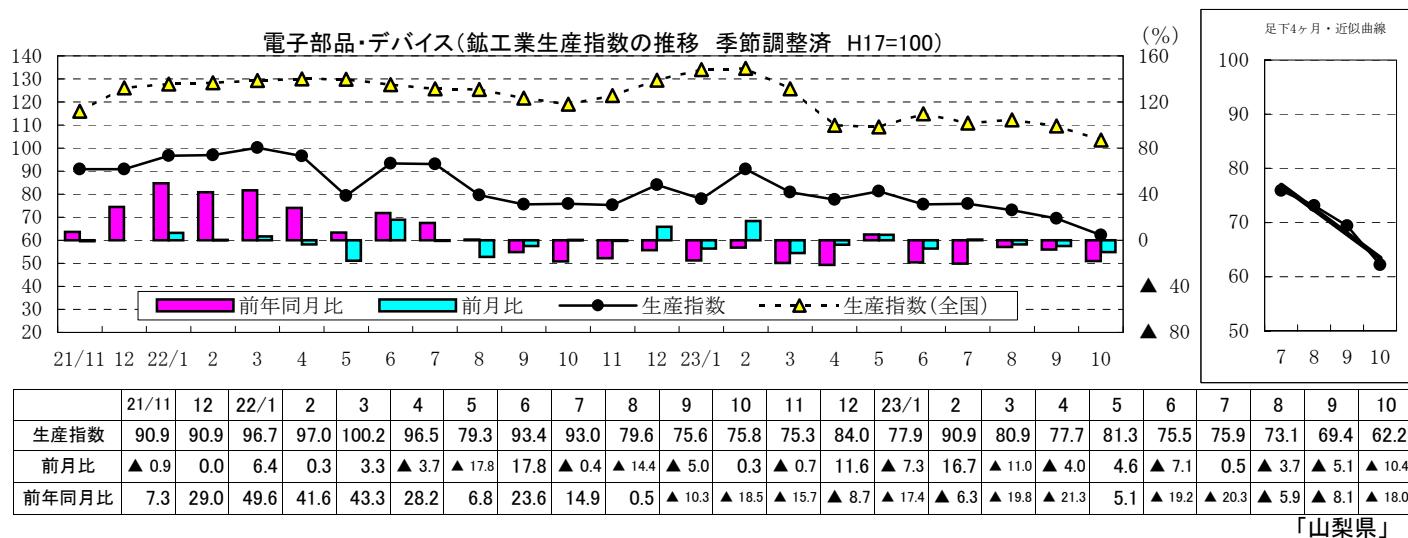
(1) 一般機械 このところ減少している



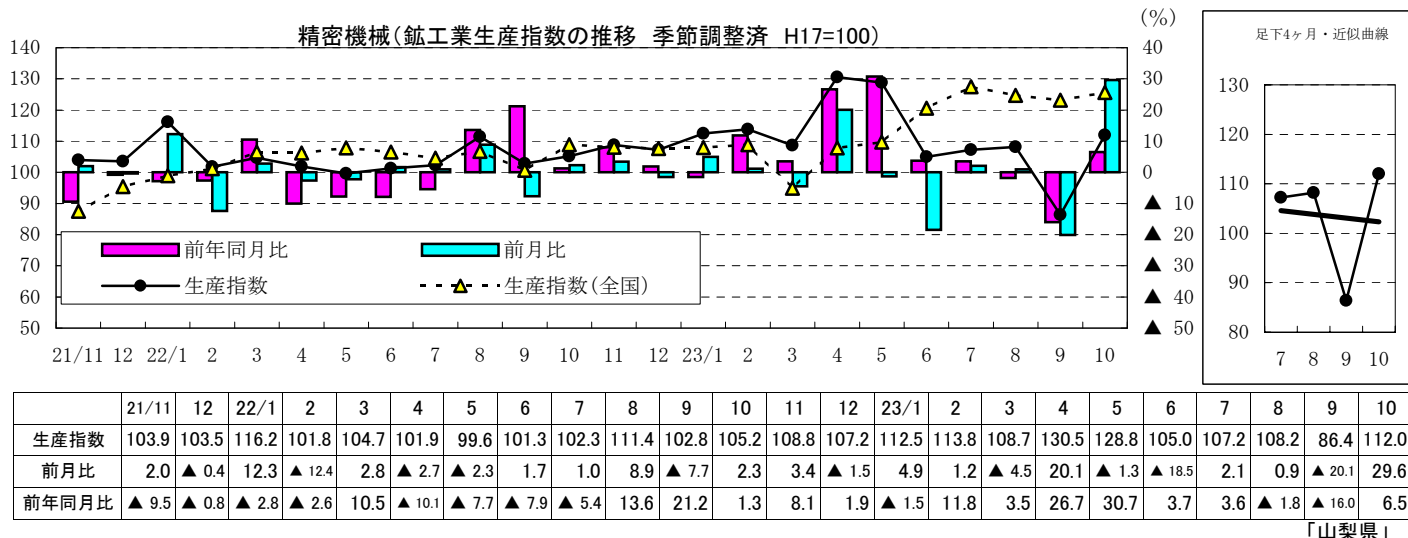
(2) 電気機械 高い水準で横ばいとなっている



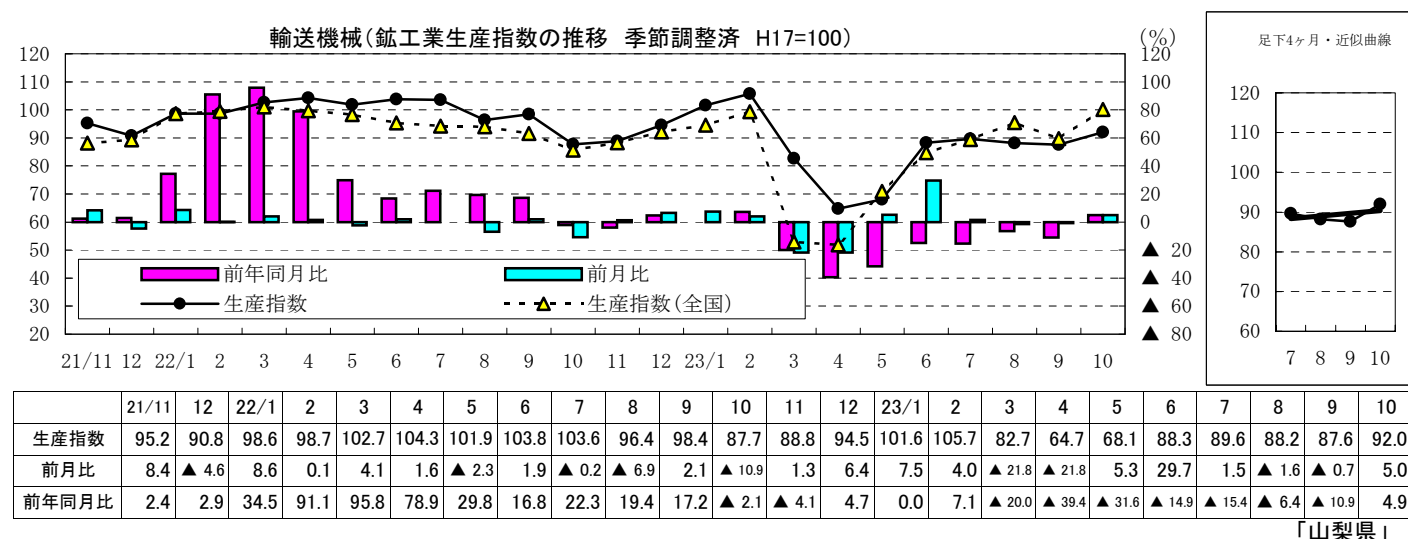
(3) 電子部品・デバイス 減少している



(4)精密機械 …… おおむね横ばいとなっている

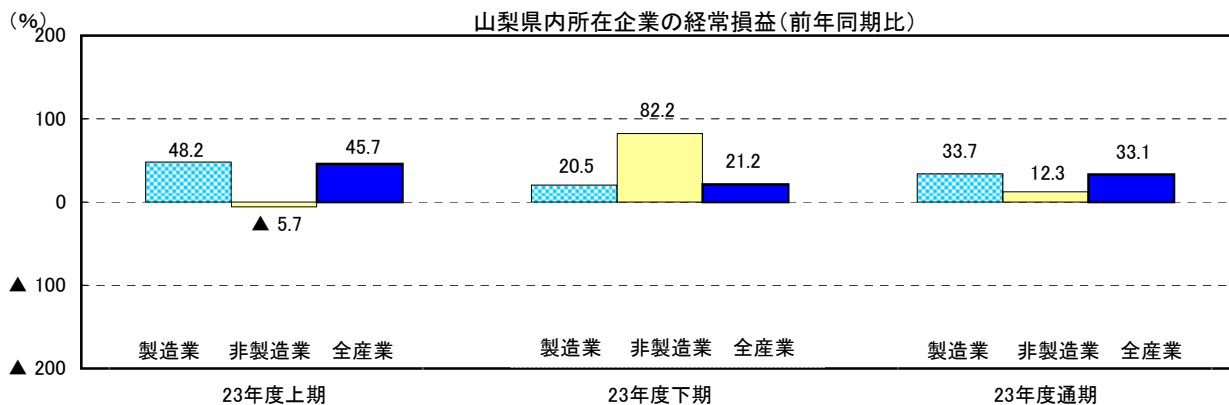


(5)輸送機械 …… おおむね横ばいとなっている



5. 企業収益 …… 23年度は増益見込みとなっている

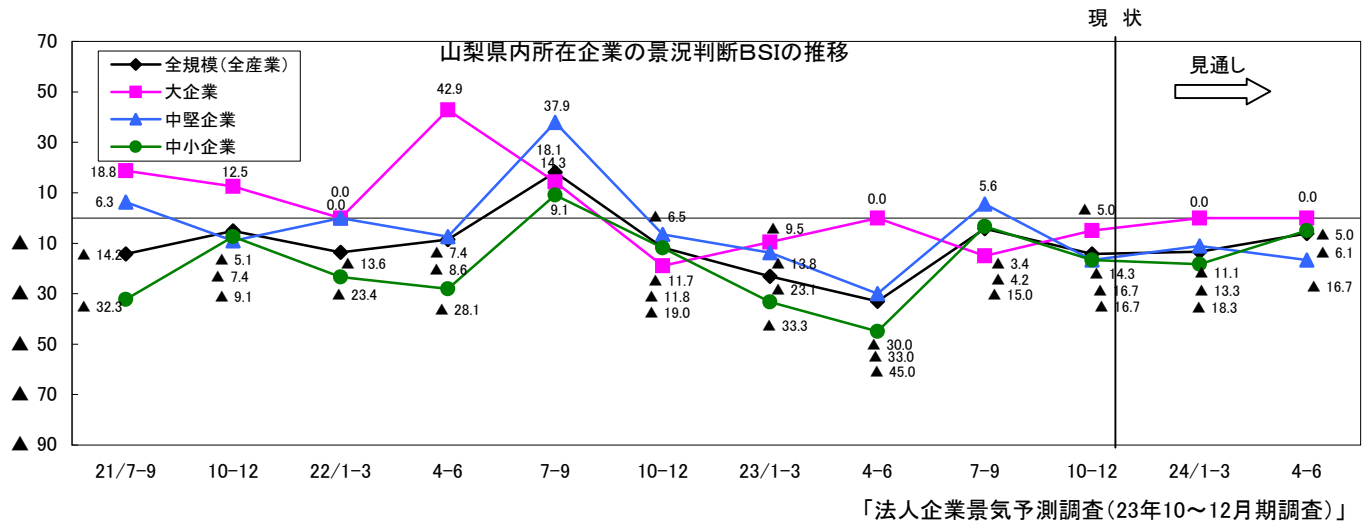
法人企業景気予測調査(23年10~12月期調査)で23年度の経常損益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業は前年比33.7%の増益見込み、非製造業は同12.3%の増益見込みとなっており、全産業では同33.1%の増益見込みとなっている。



「法人企業景気予測調査(23年10~12月期調査)」

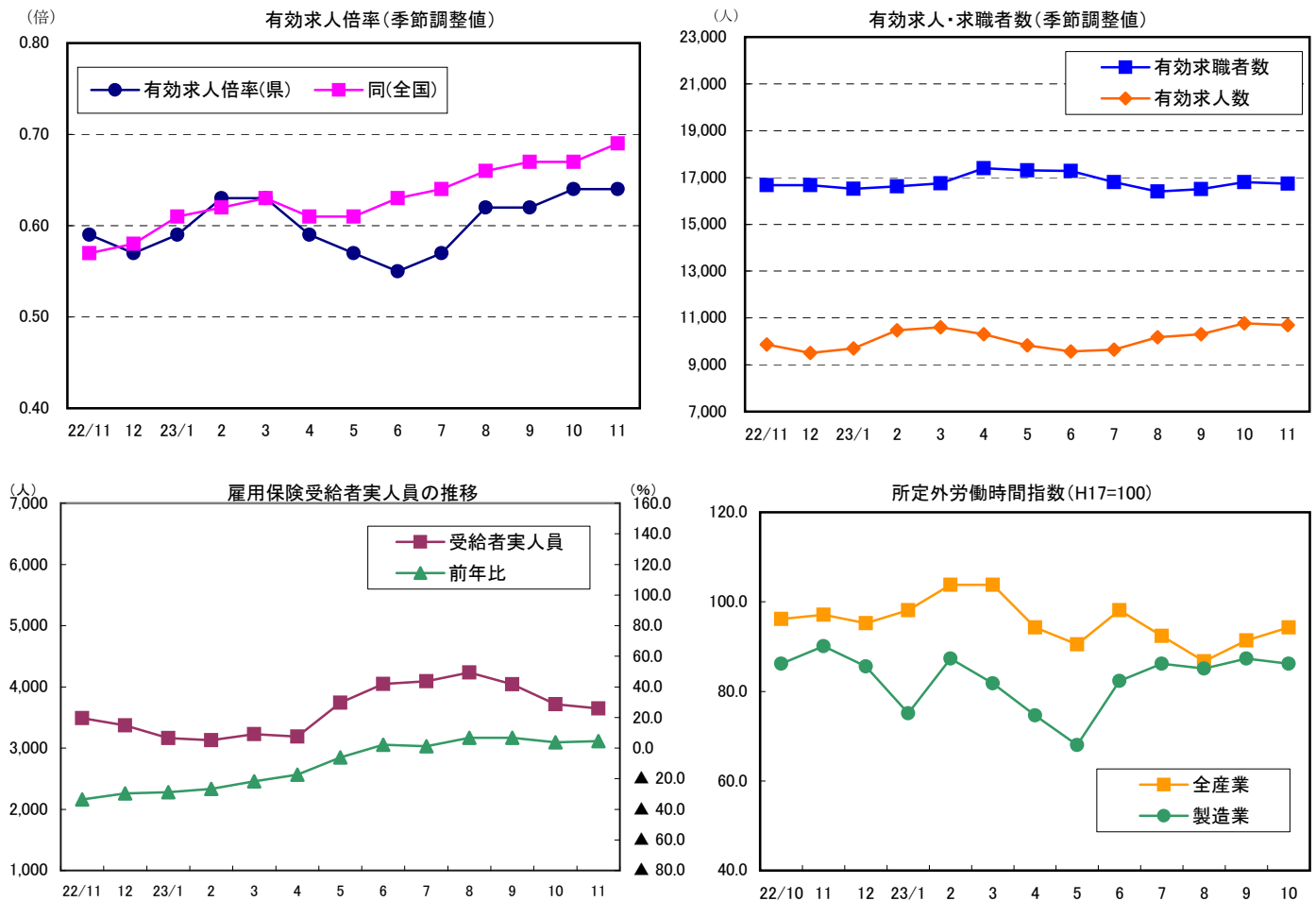
6. 企業の景況感 …… 大企業は「下降」超幅は縮小し、中堅企業は「下降」超に転じ、中小企業は「下降」超幅が拡大している

法人企業景況予測調査(23年10~12月期調査)の景況判断BSIを全規模(全産業)でみると、「下降」超幅は拡大している。規模別にみると、大企業は「下降」超幅は縮小し、中堅企業は「下降」超に転じ、中小企業は「下降」超幅が拡大している。先行きについては、全規模(全産業)でみると、「下降」超で推移する見通しとなっている。



7. 雇用情勢 …… 厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている

有効求人数は増加傾向にあり、有効求職者数はおおむね横ばいとなっていることから、有効求人倍率は増加傾向にある。雇用保険受給者実人員は減少しており、所定外労働時間は増加している。



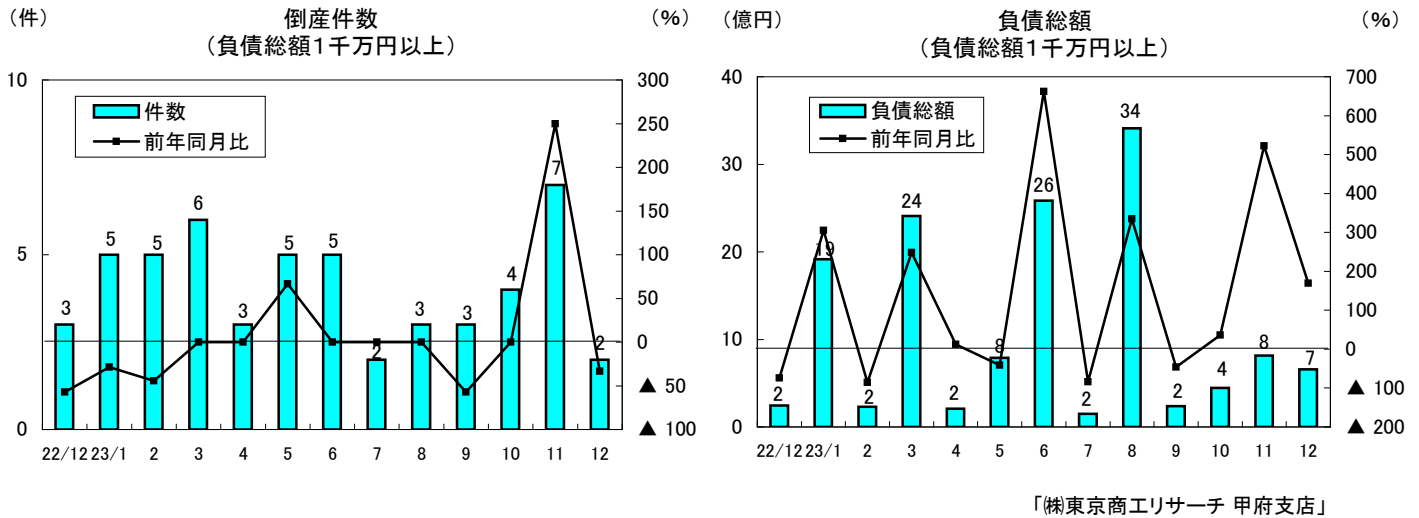
(単位:倍、人)

	22/11	12	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
有効求人倍率	0.59	0.57	0.59	0.63	0.63	0.59	0.57	0.55	0.57	0.62	0.62	0.64	0.64
有効求人数	9,865	9,505	9,694	10,470	10,601	10,301	9,829	9,567	9,644	10,182	10,304	10,777	10,689
有効求職者数	16,666	16,671	16,512	16,617	16,747	17,394	17,310	17,273	16,800	16,401	16,506	16,807	16,739

「山梨労働局・厚生労働省、山梨県」

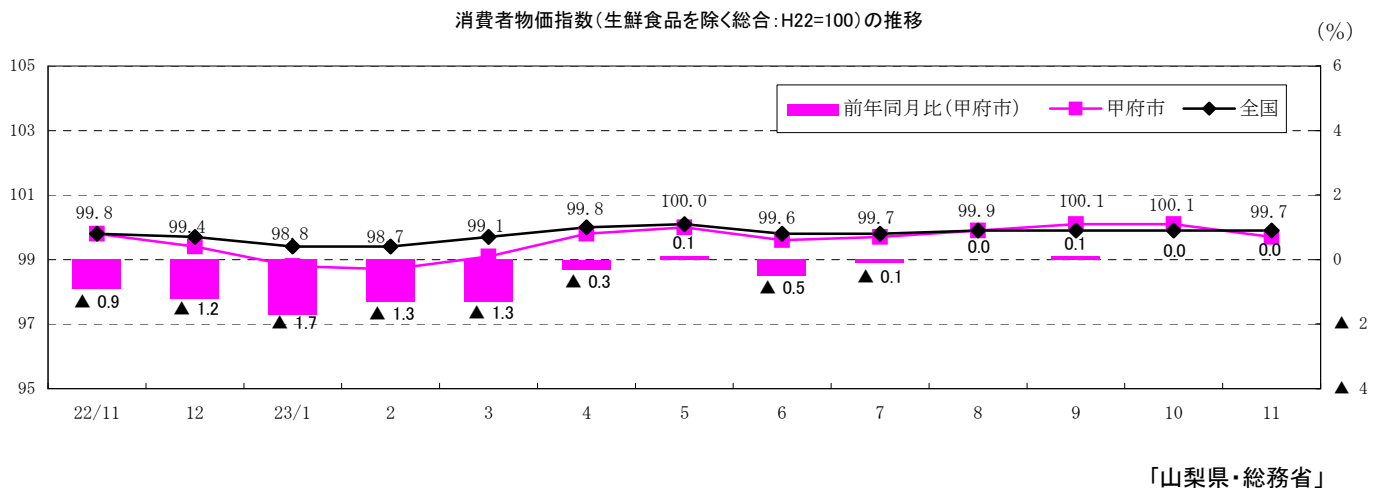
8. 企業倒産 …… 件数は落ちついているが、負債総額は前年を上回っている

企業倒産(負債総額1千万円以上)件数は落ちついている。
負債総額は、前年を上回っている。



9. 消費者物価 …… 足もとで前年を下回っている

消費者物価は、足もとで前年を下回っている。



10. 公共事業 …… 前年を下回っている

公共事業保証請負額累計額は前年を下回っている。

